

国立大学法人東京大学との共同研究開始について

～ミタバイオ（光合成細菌）の微生物解析技術を活用した品質向上と新たな知見の獲得を目指して～

三田尻化学工業株式会社（本社：山口県防府市、代表取締役：山田 浩文、以下「当社」）は、国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）と、当社製品ミタバイオ（光合成細菌）に関する共同研究を下記のとおり開始しましたのでお知らせします。

記

1. 共同研究の背景

当社の「ミタバイオ」は、光合成細菌のほか複数の微生物が共存する微生物資材であり、「肥料化促進」「水質改善」「有機物の分解促進」などを目的として利用されています。近年、微生物に関する研究や分析技術の進展により、微生物資材の特性をより詳細に把握し、製品の品質向上や安定供給に活用する取り組みが進んでいます。そこで当社は東京大学との共同研究を通じて、ミタバイオに含まれる微生物の特性に関する理解を深めるとともに、製品品質のさらなる向上と品質管理体制の強化を目指します。

2. 共同研究の概要

（１）研究体制

- ・ 三田尻化学工業株式会社
- ・ 国立大学法人東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 松永幸大研究室



（２）研究内容

- ・ ミタバイオに含まれる微生物群集の特性解析
- ・ 解析結果を活用した製品開発に関する検討
- ・ 微生物群集解析に基づく品質評価手法の検討

（３）研究開始

- ・ 2026 年 8 月 1 日～

3. 期待される研究成果

本共同研究では、ミタバイオに含まれる微生物群集の特性に関する知見を蓄積し、製品への理解をさらに深めることで、品質向上および品質管理体制の強化を目指します。これらの成果を活かし、製品の安定した品質確保と供給体制の強化につなげるとともに、お客様により安心してご利用いただける製品開発・提供を通じて、サッチ分解、廃水処理、水産、農業等の分野における課題解決に貢献してまいります。

4. お問い合わせ先

三田尻化学工業株式会社 開発営業部 牛丸 （TEL：0835-22-3311）

以 上